

災害看護論	2年・前期	1単位 30時間	教授 片貝智恵
科目カテゴリー	看護の統合	科目ナンバリング	34111012

1. 授業のねらい・概要

学生が後期の「災害看護実習」を遂行するために、災害時の医療体制および看護に必要な基礎的事項を理解することを目的とする。

学生は、発災時以降への長期的視点を持った生活支援に関する知識、技術(自助・共助・公助)を理解する。

学生は、災害時の患者および家族の心理的ケアを考察する。

2. 学修の到達目標

1. 災害看護の課題を述べるができる。(D-2)
2. 災害時の感染症と対策について述べるができる。(D-2)
3. トリアージを述べるができる。(D-2)
4. トリアージの各区分に相当する事例を4事例作成できる。(D-2)
5. 災害看護の特徴と役割を述べるができる。(D-2)
6. 災害看護活動における倫理と心構えについて話し合うことができる。(D-1)
7. 災害情報と人々の避難行動について述べるができる。(D-3)
8. 災害サイクル急性期の看護を述べるができる。(D-2)
9. 災害サイクル中長期の看護を述べるができる。(D-2)
10. 災害サイクル静穏期における災害看護の取り組みについて、話し合うことができる。(D-2)
11. 要配慮者への援助について述べるができる。(D-2)
12. 避難所のアセスメントについて話し合うことができる。(D-3)
13. 被災者の心理過程を知り、援助について述べるができる。(D-2)
14. 支援者のストレスとストレスマネジメントについて述べるができる。(D-2)
15. 近年の災害について話し合うことができる。(D-3)

3. 授業の進め方

テキストに基づく資料を用いた講義を中心に進める。演習は、個人ワークおよびグループワークを併用する。

アクティブ・ラーニングとしてグループワークを用いる。

ICTは活用しない。

4. 授業計画(講義・演習)

回	授業内容	授業形態	事前事後学修(学修課題)	担当
1	災害看護の歴史, 現状, 課題	講義	予習: テキスト第1章を読み, わからない言葉を調べる。 復習: 災害看護の課題をまとめる。	片貝智恵
2	災害の定義, 災害の種類と疾病構造, 災害医療	講義	予習: テキスト第2章Aの1~7を読み, わからない言葉を調べる。 復習: 災害時の感染症と対策についてまとめる。	片貝
3	トリアージ①	講義	予習: 第2章Aの8を読み, わからない言葉を調べる。	片貝

			復習：START トリアージをまとめる。	
4	トリアージ②（グループワーク）	演習	予習：トリアージ I～IV の区分に相当する事例を、各 1 事例考えておく。 復習：グループワークによる考察をまとめる。	片貝
5	災害看護とは	講義	予習：テキスト第 2 章 B を読み、わからない言葉を調べる。 復習：災害の時期と活動場所に応じた災害看護の役割とその解釈をまとめる。	片貝
6	災害看護活動における倫理と心構え（グループワーク）	講義演習	予習：テキスト第 2 章 D を読み、わからない言葉を調べる。 復習：災害活動における心構えについてまとめる。	片貝
7	災害看護活動につながる基本的な知識	講義	予習：テキスト第 3 章を読み、わからない言葉を調べる。 復習：災害情報と人々の避難行動をまとめる。	片貝
8	災害サイクル別の看護活動：急性期の看護	講義	予習：テキスト第 4 章 A を読み、わからない言葉を調べる。 復習：被災地病院の災害発生時における看護の役割についてまとめる。	片貝
9	災害サイクル別の看護活動：中長期の看護	講義	予習：テキスト第 4 章 B を読み、わからない言葉を調べる。 復習：復興期における看護の役割をまとめる。	片貝
10	災害サイクル別の看護活動：静穏期における災害看護の取り組み（グループワーク）	講義演習	予習：テキスト第 4 章 C を読み、わからない言葉を調べる。 復習：グループワークによる考察をまとめる。	片貝
11	災害サイクルに共通した実践的な知識①	講義	予習：テキスト第 5 章 A を読み、わからない言葉を調べる。 復習：要配慮者への看護をまとめる。	片貝
12	災害サイクルに共通した実践的な知識②（グループワーク）	演習	予習：テキスト第 2 章 B～D を読み、わからない言葉を調べる。 復習：グループワークによる考察をまとめる。	片貝
13	被災者に対する「こころのケア」	講義	予習：テキスト第 6 章 A を読み、わからない言葉を調べる。 復習：被災者の心理過程をまとめる。	片貝
14	支援者に対する「こころのケア」	講義	予習：テキスト第 6 章 E を読み、わからない言葉を調べる。 復習：支援者のストレスとストレスマネジメントをまとめる。	片貝
15	近年の注目すべき災害個人ワーク	講義演習	予習：テキスト第 8 章を読み、わからない言葉を調べる。 復習：個人ワークによる考察をまとめる。	片貝

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は 3 分の 2 以上出席した者）50%，課題レポート 50%，平常点で総合的に評価する。

成績評価は、「2. 学修の到達目標」に示した評価観点ごとに、ルーブリック評価とする。尚、ルーブリック評価に関する詳細は、第 1 回講義内で説明する。

定期試験の出題範囲および出題方法等は、事前に口頭で提示する。

課題レポートの配点内訳は、課題①～⑤各（10%）とし、詳細（内容、締め切り日時、提出場所など）は、講義内で資料を提示する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：小原真理子他（2019）災害看護 心得ておきたい基本的な知識 南山堂

7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

授業計画の1回の授業範囲および事前事後学修（学修課題）について，最低45分の予習および最低45分の復習を行うこと。

8. 受講上の留意事項

災害看護実習の先修科目である。

主体的，意欲的な受講態度が重要である。

授業中の私語や授業に関連しない行動は，平常点として評価対象とする。

授業時間開始後に，教室の入室および退出を無断で行うことは慎むこと。

9. 課題に対するフィードバックの方法

定期試験終了・課題レポート提出後，口頭，掲示またはメールで説明する。

講義時間以外に，随時，メールで問い合わせを受け付ける。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり，修得できない場合進級不可となる。

11. 実務経験のある教員等による授業科目

医療機関における看護師としての実務経験を活かして，講義・演習を行う。